

令和4年度 弘前市総合教育会議 資料

日時：令和5年2月1日（水）

午後3時30分から

場所：岩木庁舎2階 多目的ホール

～ 目 次 ～

■ 協議事項 「教育行政について」

【1】子どもの心身の健康について.....1 ページ

1. これまでの取組
 - (1) 授業で学ぼう！健康教育事業
 - (2) 給食で学ぼう！食育スクール
2. 令和4・5年度の新規取組と予定
3. 課題

【2】子どもの読書活動推進と学校図書館等の拡充について..... 3 ページ

1. 現状と課題
2. 学校司書配置研究事業について
3. 市立図書館との連携

【1】子どもの心身の健康について（学務健康課）

1. これまでの取組

(1) 授業で学ぼう！健康教育事業

① 市立小中学校での健康教育講座の実施

医師や薬剤師などの専門家を講師として派遣し、小学校高学年は飲酒・喫煙防止や薬物乱用防止、中学生は性に関する講座を実施

【R3実績】小学校：12校（受講児童数 1,004人）
中学校：16校（受講生徒数 1,000人）

② 健康教育研究事業

市立小中学校2校に、健康維持増進のための実践的な健康教育の推進についての研究事業（授業・カリキュラム・地域との連携など）を委託

【R3実績】城西小学校、常盤野小中学校

③ 学校歯科保健教育研究業務

市立小中学校2校に、学校保健に係る歯の健康対策についての実践的な研究事業（歯磨き指導・歯の保健指導など）を委託

【R3実績】東小学校、第二中学校

④ 健康教育プログラムの実施

市立全小中学校で「弘前式健康教育コアカリキュラム」を柱とした健康教育プログラムを実施

(2) 給食で学ぼう！食育スクール

① 市立小中学校での食育授業の実施

給食センターの栄養教諭等が、食育指導の一環としての授業を実施

【R3実績】215回（うち対面 157回、リモート 58回）

② 県産食材を使用した給食提供

「ふるさと産品給食の日」に、県産食材をふんだんに使用した給食を提供

【R3実績】年2回（6月、11月）

③ 食育等の情報発信

「食育フェスティバル」に参加し、食育等を情報発信

【R3実績】※コロナ禍のため R4.4月に延期

給食センターを紹介した展示物のほか、自作の回転釜レプリカを活用した調理員さん体験ブースを出展

2. 令和4・5年度の新規取組と予定

- ① 規格外品を含む地場産農産物を使用した給食の提供

【R4年度】常盤野小中学校で地場産の規格外野菜を使用した夏野菜カレー等を提供

- ② 弘前歯科医師会と連携し、令和5年度に全市立小中学校において、むし歯予防に効果の高いフッ化物洗口を実施

【R4年度】R4.10月11日～ 大和沢小学校で先行実施

- ③ 市立小中学校2校に委託している「健康教育研究事業」において、令和5年度から、手のひらの色素量を基に推定野菜摂取量を可視化する機器（ベジチェック）を食育授業等で活用

3. 課題

児童生徒の肥満対策に効果的な取組の実施

R3年度 肥満傾向児の出現率（小学校5年）

男子			女子		
弘前市	青森県	全国	弘前市	青森県	全国
16.8%	19.0%	13.1%	11.5%	12.6%	8.9%

【2】「子どもの読書活動推進と学校図書館等の拡充について」(学務健康課、生涯学習課)

1. 現状と課題

学校図書館は、児童生徒の読書活動や読書指導の場である「読書センター」としての機能と、児童生徒の学習活動を支援したり、授業内容を豊かにしてその理解を深めたりする「学習センター」としての機能とともに、児童生徒や教職員の情報ニーズに対応したり、児童生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成したりする「情報センター」としての機能が求められています。

学校図書館の担当教員は、学級担任との兼任であることが多く、負担が大きいことが課題となっています。

また、今後、蔵書のデータベース化が図られることによって、業務効率の改善や図書の検索が容易となり、学校図書館を授業で利活用する機会が増すことが期待されます。

令和3年度から「学校司書配置研究事業」を開始し、学校司書が学校図書館の管理業務を担うことによる、児童生徒の読書環境及び担当教員への負担軽減並びに授業での利活用への効果を検証しています。

2. 学校司書配置研究事業について

① 事業内容

令和3年度は、学校司書2名を拠点校となる小、中学校各1校に配置し、学校図書館の環境整備、児童生徒の読書活動支援等を行っています。

令和4年度からは、拠点校のほか、週1回程度、派遣校へ訪問しています。

② 効果

学校司書が工夫を凝らした環境整備や様々な形で図書の紹介をすることで、児童生徒の学校図書館や読書に対する意識も変化し、様々なジャンルの図書を手に取る機会が増え、利用者数及び貸出冊数が増加しました。

担当教員の負担軽減は、もちろんのことですが、学校司書が学校図書館に常にいることにより、児童生徒を安心して学校図書館に行かせることができると、ほかの教員からも好評でした。

③ 今後

研究校以外のすべての学校に学校司書による支援を拡充する方法や学校図書館がもつ学習センター、情報センターとしての機能の向上についても検討を進めたいと考えています。

3. 市立図書館との連携

令和5年度には、市立図書館（指定管理）が自主事業として小学校を対象に電子図書館を試験的に導入し、児童が学校でタブレットを利用しながら気軽に読書に親しむ環境の提供を予定しています。

新たなツールを利用して多様な知に触れる機会が創出されます。

○ 学校司書による環境整備の一例

▼ 学校司書による手作りの新聞閲覧台



▼ 学校行事の「米作り」に、ちなんで。



▼ 新着コーナー



▼ 郷土人物の紹介



▼ 「今日の一冊」を毎日紹介

学校図書館入口の廊下に設置することで、
学校図書館の利用を促している。



○ 弘前市電子図書館（仮称）

▼ トップ画面イメージ案

